

剣道を始めて良かった事

松原剣道 中学二年 中島蒼大

僕が剣道を始めたきっかけは、新しいことに挑戦したいと思ったからです。

剣道は、中学校の部活動紹介で知ることになりました。部活動紹介では稽古の追いかけだけではなく、挨拶や礼儀作法などで、武道で習う心構えや気遣いに圧倒されました。そこで僕は、先輩方のように、剣道の技術をだけでなく、忍耐力や礼儀作法などの心も学びたいと思います。

ました。剣道を始めたから、心身を鍛えて、人間

間として成長することができると思いました。

最初は部活も楽しかったのですが、半年を過ぎた頃から体力が続かず、稽古についてい

けなくなりました。他の人の迷惑にならな

い、剣道を続けられる自信がなくなりました。

そんな時に同級生が、

「松原剣道の方が合っているかもよ、それないか

ら来てみては？」と誘ってくれました。どう

しても剣道を続けてほしいと母からも言わ

れたので見学に行くことにしました。

松原剣道では幼稚園生から僕の祖母と同じ位の年の先生方が稽古さされていました。

初めて参加させて頂いた僕にも、先生方は団員の人達と平等に接してくれて、良い所はとておほめしてくれます。もちろん出来ていない所は厳しく指導してくれました。

まだ団員ではない僕に一級審査を受けるならと南先生、増田先生、関吉先生には時間をかけて、基本技、形をていねいに教えて下さりました。

「スピードよりも正確に基本打ちができなければ、技術が身に付かない。」と話してくれました。

大学生の佐藤先輩には面の着け方もていねいに教えてもらいました。

僕は不得意な事が多くて、誰よりもできるようになるには時間がかかります。一度や二度で覚られなかったので何度も松原剣道の稽古に通い、稽古がない日は家でも毎日練習し

ました。

僕は難しいことはすぐにあきらめてしま
ていたので、こんなに一息懸命練習したこと
はありませんでした。何度も何度も同じ事を
繰り返すことがこんなにも大変で大事なた
と気がつきました。昨日できなかった事が今
日できたよろこびは言葉になりません。
一級審査日が稽古の日だったので終わって
すぐ道場に行って報告しました。

南先生が皆の前で合格証書を読みあげてく
れました。先生方、団員の皆、父兄の皆さん
が自分の事のように喜んでくれました。

団員のお母さん方から

稽古を真剣に頑張ったからね。と言って
頂いて、僕の頑張りを認めてくれたと思い、
少しでも自信が付きました。

部活の時は先輩の真似をして挨拶や礼をし
ていました。正式に入団を決めた時に南先
生から挨拶、礼は日本人が昔から大切に行
てきた文化だと話してくれました。

「相手がいるから自分自身で成長できる。」
先生方、先輩から基本を教えてもらい、稽古
を一緒にしてくれ、仲間がいるからお互いに
自分の弱い所を知ることができ、成長でき
ると教えて頂きました。
確かに松原剣道で僕はたくさんの中からア
ドバイスしてもらいます。とても分かりやすく
教えてくれるのでとても勉強になります。
毎回の稽古でできることが増えるとしても
うれしいです。自信になります。

次の目標は来年の二段審査合格する事です。
今よりも基本の動作を身につけていく事と、
もう一度礼儀作法を見直して、周りの方々に
感謝して稽古に取り組んでいきたいです。